



特集

村在住の若き おと高卒業生②

Otoineppu public relations magazine
森と水と人が織りなす匠の里

広報
おといねっぷ
no. 542

2019 11
令和元

村在住の

若きおと高

卒業生②

〜第二の故郷で、

光り輝く〜

村の一員として、3年間を高校寮で仲間と共に過ごす「おとねつぷ美術工芸高等学校（おと高）」の生徒たち。卒業後はそれぞれの場所で活躍をしています。出身地も個性も様々なおと高生ですが、卒業後も音威子府村に戻り、活躍している卒業生が数多くいらっしゃいます。

その中でも今回は、村内で活動している20代の若き卒業生たちにスポットをあて、おと高在学中のことや、村での生活・活動についてお伺いしましたので、先月号と今月号に分けてご紹介いたします。

瑞々しい生命を生む、

「立体木象嵌」の技。

福田亨さん

(平成24年度卒業)

福田亨（ふくだ とおる）さんは、平成29年4月から、山村都市交流センター木遊館の木工指導員として勤務された後、現在は木工作家として村を拠点に活動されています。

福田さんは、木の立体彫刻に、伝統工芸の装飾技法である象嵌（ぞうがん・材料の表面を彫り、そこに他の材料をはめ込んで、模様などを表す技法）で模様や色を表現した「立体木象嵌（りつたいもくぞうがん）」作品を生み出しています。作品発表の場としては、11月15日から3日間、石川県金沢市で開催される「KOCHI Art Fair Kanazawa2019」に出品するほか、12月には銀座の画廊や銀座三越で作品が展示される予定です。また、2月には大阪、5月にはアメ



に立つものを作って生活する』という考えしかありませんでした。そんなときに、自在置物（金属を素材にした、関節が動く動物の工芸品）作家である満田晴穂（みつた はるお）さんの個展を訪れ、昆虫を制作して生計を立てていることに衝撃を受け、『象嵌で生きものを作ってもいいんだ』と思えるようになりました。

自分のものづくりに対して、いろいろな木工の分野に魅力を感じてしまい、一貫性が無いことがコンプレックスでした。一つのを続けたいと思っていましたし、もともと昆虫が好きだったので、『蝶をモチーフに作り続けよう』と決めました。また、漢字も技法も難しい『木象嵌作家』では覚えられにくいですが、

リカ・ニューヨークでそれぞれ展示が予定されており、更に令和3年1月には個展が予定されているなど、多忙な日々を過ごされています。

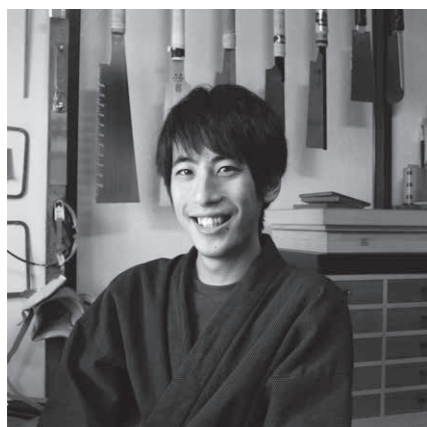
「今、手元にある『雪解け』という作品は、9月に銀座で開催されていたグループ展に出品したものです。中心に止まっている『クジャクチョウ』は成虫の状態でも多く飛んでいます。今時期の音威子府でも多く飛んでいます。クジャクチョウが目覚まして飛び始める、雪解け時期の季節感を作品に落とし込みました。」

おと高生ときの経験が今の制作の根幹を形作った、と福田さん。「学校の材料庫には村で仕入れてもらった木がたくさんありますが、



『木で蝶を作る人』だとわかりやすいと思ったのも理由の一つです。SNSで作品を発信していると、昆虫が好きな人にも知られるようになります。昆虫の細かい特徴も見られるようになりました。おかげで観察力や表現力も養うことができましたし、蝶に詳しくなったり、新たな出会いも増えました。そういった意味でも、蝶に絞って良かったと思っています。

虫って嫌われがちですが、『嫌い』『気持ち悪い』と思うのは先入観でしかなく、生きもの自体には『可愛い』『気持ち悪い』もありません。人間は思考を持っており、先入観を捨ててフラットな視点を持つことができます。犬も虫も違いはないこと



廃材庫には、先輩が個人的に買った木材の端や複雑な装飾が施されているものなど、まだ使える材も捨ててあったりして、まるで『宝の山』でした。大きい材から切り出すよりも、廃材庫から拾うほうが早いですが、『木を大切に使う』、良いことをしている』感情が芽生えました。木材を自由に使える環境ではありましたが、このときに芽生えた『木材を大切に使う』という意識は、今でもベースになっています。木材は魅力的な素材ですが、木工をしていると、どうしても捨てる部分が出てしまいます。仕方ないことかもしれませんが、木にも命があります。ですので、『無駄にせず、極限まで使う』ことを心がけています。希少

に気付くと、世界のいろんなことに『気付き』や『感動』が生まれます。紅葉と同じように、トンボに季節や風景を感じるなど、身近だけど見過ごされがちな『虫』は、価値観の変化を生むきっかけとなる存在です。美術は、物を通して他者にメッセージを届けられるところが面白いところだと思います。作品を見て『造りが細かい』と思ってくれるところから、『生き生きしている』『こまかで細かいことをしないと再現できない虫っておもしろい』と思ってもらえると嬉しいですし、作品を通して得られた感動が生活に還元され、人生が豊かになつてもらえれば、冥利に尽きますね。なかなか作品を村民のみなさんに見てもらおう機会を作れていませんが、多くの方に見て欲しいと思っています。」

何かと縁が深い、クロカンの「聖地」。

福田 旭さん (平成26年度卒業)

福田旭(ふくだあさひ)さんは、今年4月から、音威子府小中学校の学習支援員として勤務されています。村に戻ってくるようになった経緯について福田さんは、

「学校の先生になりたいと思うようになったのは、中学生の頃です。クロスカントリースキーをずっとやっていたので、進路先はそこを活かせるところを選んできました。おと高に入ったのもクロカンがやりたかったからですし、大学も、競技をしながら教員免許を取得できる学校に進学しました。昨年、高校体育の採用試験に落ちてしまい、勤務先が見つからないまま大学最後のスキーシーズンに入ってしまった。そんなときに、高校の時の担任の先生



から『音威子府で学習支援員を探しているんだけど』と連絡をいただけたのがきっかけで、音威子府に帰ってきました。

私の出身地である赤井川村と音威子府村は、周囲を山に囲まれている雪が多いなどの共通点も多く、親近感がありました。大学生のときも、音威子府のクロカン大会や合宿に毎年参加していましたし、今年3月の全日本スキー選手権大会にも出場しました。その翌週に音威子府に引越してきたので、『戻ってきた！』という感動はあまりありませんでした(笑)。」と話してくださいました。村での生活については、

「意外と若い人が多く、おと高の先輩なども住んでいたもので、そういう意味でも良かったと思います。夏のイベントでは、高校生のときはなんとなくなしか知らなかった人とも関

わることができ、知り合いが増えました。高校生のときに見えていた景色とは違って見えるので新鮮です。」とのこと。

普段は学習支援員として、子どもたちの支援をしています。体育の授業や休み時間には、子どもと一緒に運動することも多いそうで、

「一緒に運動をしていると、子どもたちが全力で勝負を挑んでくるので、大人の力を見せ付けてます(笑)。」やんちゃなところもありますが、めんどいですね。勉強も行事も、やるときはちゃんとやる子たちばかりです。学芸祭も、一人ひとりが担う役割が多く大変だったと思います。太鼓の練習も、時間を見つけては練習していて、とても頑張っていました。



私事ではありますが、中学体育の採用試験に合格できました。先生方にはたくさん助けてもらったので、そういった側面でも音威子府に来て良かったなと思います。」
おと高クロカンの練習にも参加しているそうで、
「平日だけでなく、土日の練習にも参加しています。一緒に走って技術指導することが主ですが、成長著しい高校生が相手ですので、最近は茶々を入れる余裕もなくなってきました。高校の部活を間近で見るとは、指導者になったときに生きてくると思うので、経験を積むという意味でも大切にしたいです。」
今後のことについて、
「赴任地が通達されるのが3月中旬なので、いまからドキドキしています。赴任校でクロカンを教えることになったら、指導者としてジュニアクロスカントリースキー大会に参加することになるので、今後も音威子府を訪れることになります。」
ポジティブ思考の『何とかなる』精神でやってきたので、どこへ行っても『次も大丈夫でしょ』と言いつけてがんばります。」

帰村により果たした、地域との「交流」。

山内 尊さん (平成25年度卒業)

山内尊(やまうち たける)さんは、平成30年4月より、npo法人e c oおといねっぷに勤務され、主に地域バスやスクールバスの運転業務、山村都市交流センター木遊館での木工指導などをご担当されています。以前は、新築の建物に備え付けられている木工製品を制作する会社に勤めていたそうで、

「ホテルの部屋を例にすると、ベッドや机だけでなくドア、カーテンボックスなど、様々な物を作ることができて楽しかったです。仕事に不満はなかったのですが、道外出身ということもあって北海道へのあこがれがあり、『北海道にまた住みたいな』と思っていました。そのときに、e c oで人を探していると話を頂き、



『北海道に戻るなら、知っている街の方が良いな』と考え、村に戻ってきました。高校卒業の時点では、『もう村に戻ってくることはないのかな』と思っていましたが、村から高校に対して補助していただいていることを考えると、『村の人に良くしてもらったのに、何も恩返しができず、申し訳ない』という思いが、心のどこかにありました。村で仕事する話を聞いたときに、『人の役に立つことは難しくても、お世話になった音威子府でしっかり働いて税金を納めるのもいいかな』と思ったのも、村に戻ってきた理由の一つです。」と話して下さいました。

村での生活については、
「不便な部分も苦ではありません

が、人が多いところの方が落ち着く性質なので、街中に人が歩いていないのは少し寂しく感じます。逆に、地域バスを運転していると、村民の方が乗車してくれるので嬉しく感じますし、会話をすることで、自分のことを覚えてもらえるようになりました。木遊館も、利用者さんと会話しながら制作するので楽しいです。

高校の頃は、村民の方との接点が多く無いと感じていました。村民運動会も、高校生で固まってしまうので、地域の人のことをあまり知りませんでした。ですので、村に戻ってきて、文化祭やビールパーティなど、だれでも参加・交流できる行事の多さに驚きました。

制作に関しては、個人的に依頼があった時などに趣味の延長として制作しています。運動や音楽と一緒に、腕がなまらぬように、こまめに手を動かそうと意識しています。おと高卒業生の中には、福田亨さんのように作家として活動している人や、作家を目指している人が多いですが、都会は経済面や環境面など障害も多いと聞きます。音威子府は作品の題材になる自然も多く、生活環境の面でも制作に向いていると思います。」



e c oおといねっぷでの仕事について山内さんは、
「昨年は木遊館での勤務が主でしたが、今は地域バスの運転が多くなっています。また、『食べマルシェ』などのイベントに参加することもあります。様々なことをさせてもらえるので楽しいです。」

もちろん木工は好きですが、私の場合はあくまで趣味です。『ものづくり』が仕事のすべてではないですし、私の役割はe c oの仕事をしっかりとかなすことだと考えています。地域の人と関わることが楽しいですし、『ありがとう』と言ってもらえることがとても嬉しいと感じます。今のやりがいの一つですね。」と笑顔で話されていました。

女性活躍推進法に基づく平成30年度 取組状況の公表について

☎ 総務課総務財政室

☎ 5 - 3 3 1 1

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号、いわゆる女性活躍推進法）」は、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために制定されました。女性活躍推進法では、事業主に対して、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が義務付けられていることから、下記のとおり公表いたします。

◇女性活躍推進法第17条に基づく女性の職業選択に資する情報の公表

1. 女性職員の採用割合

常勤			非常勤		
基幹的な職員のまとめり		その他	基幹的な職員のまとめり		その他
名称	数値		名称	数値	
一般事務職	0.0%	保育士 0.0% 保健師 0.0%	一般事務職	100%	保育士 100.0% その他 33.3%

2. 職員の女性割合

常勤			非常勤		
基幹的な職員のまとめり		その他	基幹的な職員のまとめり		その他
名称	数値		名称	数値	
一般事務職	24.2%	保育士 75.0% 保健師 100.0% 技能職 0.0%	一般事務職	100%	保育士 100.0% その他 33.3%

◇特定事業主行動計画に基づく取組の実施状況公表（数値目標に対する進捗状況）

採用関係			管理職女性の登用者数		
目標項目	数値目標（時期）	最新値（H30年度）	目標項目	数値目標（時期）	最新値（H30年度）
女性職員の採用割合	50%程度（平成36年度末）	0.0%	管理職女性の登用者数	3名（平成32年末）	2名



【国が実施する消費税率引き上げに伴う消費喚起事業】
プレミアム商品券、発売中です！！



プレミアム付き商品券販売事業は、住民税（村道民税）非課税の方が対象となります。**購入には購入引換券が必要になります。**役場住民課住民生活室窓口にある申請書にご記入のうえ、交付を受けてください。**1セット5,000円分の商品券を4,000円で販売！**さらに、**1セット購入ごとに500円券を1枚進呈！**

◇販売期間 令和元年12月30日（月）まで

◇利用期間 令和2年3月31日（火）まで

たとえば……

	購入金額	商品券の額面
消費税対策プレミアム商品券（5セット）	20,000円	27,500円
村のプレミアム商品券（2セット）		26,000円

※購入限度は1人5セットまでとなります
※商品券の使用は音威子府村内に限ります

☎ 経済課産業振興室

☎ 5 - 3 3 1 3

おといねっぷむらの **わだい** toineppu topics

繊細な世界を「切り」開く 公民館教室・切り絵講習会

10月18日（金）と19日（土）、公民館教室切り絵講習会が開催され、延べ17人が切り絵作品の制作を体験しました。切り絵作家として活躍されている小林ちほさん（平成23年おと高卒業）を講師にお招きし、丁寧にご指導いただきました。作品の出来栄えに、皆さん大満足の様子でした。



緊張したけど、頑張りました！ 幼児センター発表会

10月20日（日）、幼児センターにて発表会が行われました。園児たちは、多くのお客さんを前にして緊張した様子でしたが、歌やお遊戯など、上手に発表することが出来ました。園児たちの頑張りに、会場からは大きな拍手が起こっていました。



健康カレンダー 11～12月 問 保健福祉センター ☎9-3050

☆ 生活習慣病予防月トレ	11/11・18・25、12/2・9・16	(保健福祉センター/9:30-)
☆ 介護予防教室	11/12・26、12/17	(保健福祉センター/9:30-)
★ 乳幼児・16歳児・3歳児健診	11/27	(保健福祉センター/13:00-)
★ Baby サロン	11/20、12/18	(保健福祉センター/水曜/10:00-)
★ 各種予防接種		(村 立 診 療 所 / 木 曜)
日本脳炎	11/12・19・26、12/3・10・17・24	※すべて火曜
B型肝炎・BCG・MR・水痘	11/14、12/12	
四種混合	11/21、12/19	
ヒブ	11/28、12/26	
小児用肺炎球菌	12/5	

年金相談・お手続きの際は、
ぜひご予約を！

日本年金機構の全国の年金事務所では、年金相談や年金請求手続について、「事前予約」を行っています。お待たせ時間の少ない予約相談をぜひご利用ください。ご予約方法は、全国共通の予約専用受付電話「0570-05-4890」またはお近くの年金事務所に、電話・来訪時にお申しください。

◇予約相談希望日の1か月前から前日まで受付しています

◇お申込の際は、基礎年金番号がわかるもの(年金手帳や年金証書など)をご用意ください。

問ねんきん加入者ダイヤル

☎0570-003-004

※050で始まる電話でおかけになる場合

☎03-6837-2913

問 旭川年金事務所

☎0166-27-1611

問 住民課住民生活室

☎5-3312

自衛官募集のお知らせ

◇自衛官候補生(男子・女子)

応募資格	18歳以上33歳未満 (令和2年4月1日現在)
受付期間	受付中～11月18日(月)
試験日・会場	11月24日(日)・25日(月) 旭川会場 ※いずれか1日を指定できます

◇陸上自衛隊高等工科学校生徒(男子)

	一般	推薦
応募資格	15歳以上17歳未満 (令和2年4月1日現在、中卒(見込み含む))	
受付期間	11月1日(金)～ 令和2年1月6日(月)	11月1日(金)～ 11月29日(金)
試験日・会場	令和2年1月18日(土) 一次試験：名寄会場	令和2年1月5日 (日)・6日(月) ※いずれか1日が指定されます 一次試験：札幌会場

問自衛隊旭川地方協力本部名寄出張所

☎01654-2-3921

問総務課総務財政室総務係 ☎5-3311

クロカン
シーズン
到来！



クロスカントリースキー大会が
今シーズンも、開催されます。

住民の皆さまのご理解・ご協力を、
よろしくお願いいたします。

第34回全日本学生チャンピオンスキー大会

◇期間 令和元年12月20日～23日

◇日程	20日(金)	開会式
	21日(土)	男女スプリント
	22日(日)	男女クラシカル
	23日(月)	男女フリー

第37回全日本クロスカントリー音威子府大会

◆期間 令和元年12月25日～27日

◆日程	25日(水)	開会式
	26日(木)	一般・高校 男女クラシカル
	27日(金)	一般・高校 男女フリー

公民館・利用制限のお知らせとおねがい

上記のスキー大会に伴いまして、12月上旬から出場選手や大会関係者が随時入村される予定です。例年、既存の宿泊施設のみでは対応しきれないことから、今年も「音威子府村公民館」の一部を臨時宿泊場所として使用するため、音威子府村公民館の一部スペースの使用制限を行う予定です。

詳しい期間等につきましては、回覧等でお知らせいたしますので、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。なお、大会期間中の公民館利用につきましては、公民館事務局(教育委員会)までお問い合わせください。

◆利用制限時期(予定)◆
令和元年12月上旬～12月末ごろ まで

問教育委員会 ☎5-3356

音威子府村立診療所 専門外来診療日 12月分

整形外科	皮膚科	眼科	超音波検査
診療日 12月6日(金) 12月13日(金) 12月20日(金) 12月21日(土) 12月27日(金)	※予約制 診療日 12月16日(月) 診療時間 14:00～17:00	※予約制 診療日 12月12日(木) 診療時間 8:45～11:15	※予約制 検査日 12月7日(土) 12月21日(土) ※医師にご相談ください。
診療時間 ・金曜日 11:30～12:30 14:00～17:00 ・土曜日 9:00～11:30	診療案内 臨時診療日 12月28日(土) 9:00～11:30(午前診療) 臨時休診日 12月2日(月) 年末年始休診日 12月29日(日)～1月3日(金)		

音威子府村立診療所 ☎5-3321

受付時間 平日 9:00～17:00 水・土 9:00～11:30

地域おこし協力隊活動報告

No. 82

冬モードに突入です！
足立 悠

こんにちは、地域おこし協力隊の足立です。アトリエ3モアは、10月末日を持ちまして今シーズンの営業を終了しました。来年のGW前までお休みです。今年は砂澤ビッキさんの没後30年ということもあり、昨年よりお客さんが多かったな～と実感しています。



11月からは雪囲い、地域複合施設ときわで行う、色鉛筆を使ったレクリエーション(左の写真は、レクで使う資料です)や、アーティストレジデンスの準備、個人制作など、やる事が盛りだくさんなので、充実した秋・冬になりそうです。みなさんのお力をお借りする場面が多々あると思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

気象台 メー モ

竜巻注意情報
身の安全を確保しましょう

竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きで、ろうと状や柱状の雲を伴っています。台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生し、短時間で狭い範囲(長さ数km、幅数十〜数百m)に集中して甚大な被害をもたらします。佐呂間町で、平成18年11月7日午後1時23分に発生した竜巻により、死者9名、負傷者29名、住宅の全壊10棟、半壊8棟など大きな災害が発生し、竜巻の怖さをあらためて教えられました。気象台の情報では、竜巻発生の可能性に応じて、
①「気象情報」の中で、「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記
②「雷注意報」を発表し、落雷、ひょう等とともに「竜巻」も明記
③「竜巻注意情報」を発表
しています。特に、竜巻注意情報が発表されたら、まず空の状態に注意を払ってください。
◆真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
◆雷鳴が聞こえたり、電光が見えたりする
◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す
◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す
などは、発達した積乱雲が近くを通過する。頑丈な建物内に移動し窓から離れる、また、逃げ場が無いときには側溝に身をひそめるなど、身の安全確保に努めてください。『自分の身は自分で守る』意識を持つことが大切です。

▽情報提供
旭川地方気象台 0166-32-7102

音威子府村教育推進協議会 「研修会」のお知らせ

内容 SNS・インターネットトラブル防止について
講師 美深警察署 中瀬 祐輔 氏
日時 11月21日(木) 17:00~
場所 音威子府村公民館2階大ホール
主催 音威子府村教育推進協議会
共催 音威子府村PTA連合会

入場無料!
どなたでも
お聴き
なれます!



トラブルの実例から、具体的に注意点や対処法を教えてください。インターネットにおける子ども達の安全を守りましょう!

☎ おといねっぶ美術工芸高校・教頭 ☎ 5-3044
☎ 音威子府小中学校・教頭 ☎ 5-3031

189 (いちやく) ちいさな命に 待たなし ~児童虐待防止対策の推進~

美深警察署 news

「しつけのつもり」は親の言い訳

児童虐待事案の取扱いは年々増加しており、尊い子どもの命が奪われるなどの痛ましい事件が後を絶ちません。「しつけのつもり」は親の言い訳に過ぎません。子どもの立場になって考え、虐待被害にあっている子どもの早期発見をお願いします。

美深警察署 ☎ 2-1110
音威子府駐在所 ☎ 5-3300
警察相談電話 ☎ #9110

近所に、いませんか?

- ◇子どもを可愛がっていない、かかわりを持とうとしていない
- ◇子どもの泣き声や、助けを求める声が頻りに聞こえる
- ◇子どもが親を異常に怖がる、顔色を伺っている
- ◇子どものいる前で親がよくケンカをしている
- ◇子どもの身体に、不自然な傷が多い
- ◇長時間、理由不明の不在が続いている
- ◇子どもの身体や衣服が汚れている
- ◇家の中にゴミが散乱し、異臭がする
- ◇子どもを長時間放置して外出している



児童虐待の疑いを感じたら、迷わず児童相談所、警察、市区町村に連絡してください。あなたの連絡が、児童虐待から子どもたちを救うことになります。

- 11/17 (日) 加工施設講習会 アイスクリーム・中華まん作り
(農畜産物処理加工施設 10:00～14:00)
- 12/20 (金)
- 12/23 (月) 第34回全日本学生チャンピオンスキー大会
(20日:開会式、21日:スプリント、22日:クラシカル、23日:フリー)
- 12/25 (水)
- 12/27 (金) 第37回全日本クロスカントリー音威子府大会
(25日:開会式、26日:クラシカル 27日:フリー)
- 12/31 (火)
- 01/05 (日) 公共施設 年末年始閉庁
(※詳しくは、広報おといねっぷ12月号にてお知らせします)

むらの人口
(令和元年10月末現在)

734人
(前月比±0人)

うち男性 378人
女性 356人
世帯数 483戸

交通事故死ゼロ
(令和元年10月末現在)
109日

今月の表紙

[幼児センター発表会]
10月20日(日)
元気いっぱい、大きな声で「よっちゃん、よっちゃん!!」みんなで頑張りました。

広報おといねっぷ

令和元年11月号 第542号

◇印刷 (株)旭川アートプロセス
◇発行・編集 北海道音威子府村役場
〒098-2501 中川郡音威子府村字音威子府
444番地1

♪森の中からドラミング♪

◇ラグビーワールドカップ日本大会にて、日本代表が決勝トーナメントに進出(ベスト8)。大盛りあがりのうちに閉幕しました。私も、日本代表の熱い戦いぶりに熱狂した「にわかファン」の一人でした。

◇一方、度重なる台風により深刻な被害が発生したり、10月15日には咲来地区を震源とする地震(最大震度3)が観測されるなど、自然の驚異を感じる月でもありました。◇日ごとに、夕暮れが早くなるのを実感します。事故や犯罪などにあわないよう、外出される際は十分にご注意いただくとともに、雪対策は万全に。目の前の脅威には、「ONE TEAM」で対処しましょう。(おっしー)

